



東京秋工学生会報
KANASA
金砂

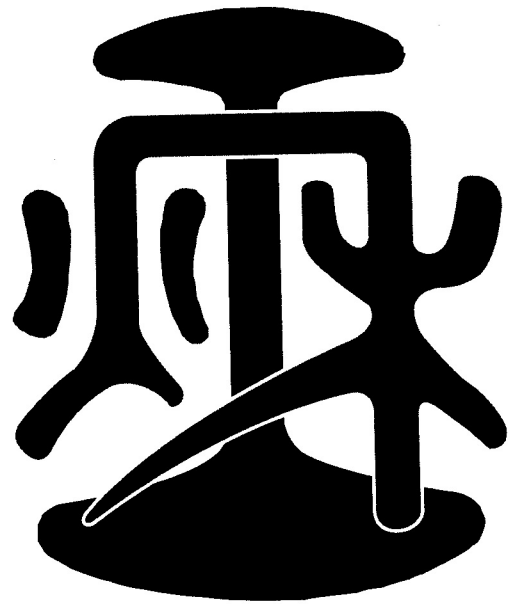


VOL.8
2000



東京秋工会

秋田県立秋田工業高等学校同窓会
東京支部



校歌

- 一、 太平山の凜たる勇姿
清河旭の淀まぬ心
勤勞の精 質実の徳
金砂健児の指さす所
希望の光 世界を輝す
- 二、 物皆凍る寒風おろし
身を焼く炎暑何かはあらん
剛健の意気 不断の努力
金砂健児の勢い見よと
黒煙日毎 天へと沖す
- 三、 進みて止まぬ科学の力
我が身に体し工業界の
未来の使命肩にと担う
金砂健児が御国に誓う
忠誠これぞ 不滅の力

東京秋工会会長

澤木 誠一（昭26 電気科卒）
澤木萬國特許事務所 所長弁理士



東京秋工会の皆様、相変わらずお元気にてご活躍のことと存じます。

長い間低迷しておりました景気もようやく上向きの気配を見せ始めて参りましたことは、誠に喜ばしいことであります。

さて私はここ4年間、秋高連の会長を務めさせて頂いておりましたが、今年3月の役員改選で再任され、続けて一期2年間会長を務めることとなりました。今後も皆様には色々ご迷惑をおかけ致し、またご協力を戴くことになるとは存じますが、宜しくお願いいたします。

私達地域同窓会の使命は、その地域社会における同窓生の個人的な横の連絡を計り、互いの親睦を深め、生活の質を向上せしめ、合わせて母校の発展に寄与するための活動を行うことにあると思っております。

私達は何れも技術屋であり、また、その専門も夫々異なっております関係上、私達の会はいわゆる異業種の会でもあります。そして私達の先輩の中には色々な経験に基づいて、定年後も事業を行っている方の多いのは、他の普通校の同窓生とはひと味違った趣があります。

最近ではミレニアムと共にIT技術が花盛りであり、新しい沢山のビジネスモデルが創設されております。定年後でも私達のビジネスチャンスは沢山あります。ぜひ同窓会に参加戴き、このような色々な情報に接し、個人的な、そして職業上のネットワークを作る機会となることを念じております。

なお、今日どこの同窓会も財政の問題で大変苦労しております。今までのような会員の年会費だけに頼ることを止め、同窓会そのものが財源確保のための利益事業を計画することを考える必要があります。また、昨今の小子化に伴い、同窓生の数も減少しております。同窓会活動に若い世代をどう活性化するかが今後の課題でもあります。皆

々様のご意見、ご指導をお願いいたします。

さて、東京秋工会におきましては年1回の総会のほか、年2回のゴルフコンペ、秋高連主催の全体総会及び忘年会・旅行会に多数の方々にご参加戴いております。来年8月には秋田県において、オリンピック外の種目による、ワールドゲームズが開催されますが、秋高連ではワールドゲームズに向けて、秋田への旅行を企画する予定です。その節は、多数の皆様のご参加をお願いいたします。

東京秋工会の会報「金砂」もお陰様にて第8号をお届けすることができました。会報作成に関わった関係各位のご努力並びに記事の提供や広告掲載による資金協力下さいました方々に、この紙面をお借りし、厚く御礼申し上げます。

本会報も第8号に達しましたが、東京秋工会は戦前に作られたと聞いています。東京秋工会がいつ頃創設されたかは記録が無く、その詳細は不明ですが、ラグビーの認定トライのように戦後50年以上経った今日、東京秋工会もそろそろ認定創立60周年というものを考える時期になったものと考えます。創立年度は不明でも、この東京秋工会の素晴らしい伝統と活力を後輩諸君に引き継ぐことが私達の使命であり、責任であると考えております。今後とも、皆々様のご指導とボランティア精神によって、東京秋工会が益々発展することを熱望する次第です。

私は現在、秋田県のAターンアドバイザーに任命されておりますが、この制度は首都圏におられる方で(秋田県出身者以外も含む)、事情があって秋田での生活を希望する方に、無料で有利に就職をお世話する制度です。ご利用を希望される方は、フリーダイヤル0120-122-255「Aターンプラザ秋田」(有楽町交通会館内)にご連絡ください。

会務報告

●会務報告●

平成11年10月1日～平成12年9月31日

- 平成10年 10月 8～10日 *秋高連主催秋田県南地区バス旅行会/澤木会長他出席
22日 *幹事会/於澤木事務所
25日 *けやき会運営委員会/澤木会長他出席
26日 *秋田花まるウィークイン東京/澤木会長出席
29日 *東京秋工会総会/於東京プリンスホテル
11月 6日 *秋田花まるウィークイン東京/澤木会長出席
7日 *第16回東京秋工ゴルフ会コンペ/於イトーピア栃木クラブ
15日 *けやき会総会,市政報告会/澤木会長他14名出席
12月 3日 *秋高連忘年会/澤木会長他8名出席
平成11年 1月 18日 *けやき会新年会/澤木会長他4名出席
20日 *秋田県主催新年会/澤木会長他出席
2月 10日 *秋高連役員会/澤木会長出席
13日 *秋田県人会連合会新年会/澤木会長出席
3月 27日 *秋高連役員会/澤木会長出席
29日 *秋高連委員会/澤木会長出席
4月 4日 *秋高連役員会/澤木会長出席
25日 *けやき会運営委員会/澤木会長他出席
5月 9日 *けやき会運営委員会/澤木会長他出席
12日 *幹事会/於澤木事務所
23日 *秋高連委員会/澤木会長出席
28日 *第17回東京秋工ゴルフ会コンペ/於レイクウッドゴルフクラブ
6月 10日 *東京雄水会(秋田商業同窓会東京支部)総会/澤木会長出席
16日 *秋高連役員会/澤木会長出席
29日 *秋高連委員会/澤木会長出席
7月 1日 *秋田経法大附属高校同窓会東京支部総会/澤木会長出席
24日 *秋高連全体総会/澤木会長他12名出席
9月 4日 *けやき会運営委員会/澤木会長他出席

会計報告

●会計報告●

平成11年4月1日～平成12年3月31日

収入の部		支出の部	
* 前年度繰越金	153,160	* 総会費用 ・会場費(東京プリンス)・酒代 ・来賓接待・東京プリンス謝礼 他	329,480
* 年会費 ¥3,000 × 106名	318,000	* 総会準備費 ・総会案内、振込用紙等の印刷費 ・総会案内送料(会報含む)他	187,914
* 総会費 ¥7,000 × 32名(男) ¥3,500 × 1名(女)	227,500	* 会報「金砂」制作費 ・版下代・印刷費(1000部)他	209,600
* 「KANASA」広告料 18件	174,000	* 交際費 ・東海支部総会御祝儀 ・関西支部総会御祝儀 ・東京雄水会総会御祝儀	30,000
* 総会御祝儀・秋田工業高校 ・同窓会本部 ・東京雄水会 ・秋田市東京事務所 ・東海支部	10,000 10,000 10,000 10,000 10,000	* 諸会費 ・平成9年度分秋高連年会費 ・けやき会会費	20,000
* 雑収入・澤木会長 ・幹事有志	26,000 32,000	* 広告費 ・新春挨拶広告(秋田魁新報社)	31,500
* 定期預金利息	121	* 会議費・幹事会会食費/3回	44,600
		* 諸雑費 ・振込手数料/年会費、会報広告料 ・幹事会案内、広告料請求事務費 ・東海、関西支部総会参加交通費 ・慶弔費/加賀谷銀治、川端邦夫	117,460
		* 次年度繰越金	10,227
●収入の部合計	980,781	●支出の部合計	980,781

※本会計は現金主義の会計制度を採用していますので、未収未払は計上していません。

●上記の通り決算報告いたします。

平成12年9月25日

会長 澤木 誠一
幹事長 三平 俊悦

●適正のものと認めます。

監査 佐々木 昭夫
監査 門馬 金初

平成11年度会計報告について

平成11年度は、会費納付者数が激減、混迷する現況を象徴する内容となりました。ご協力いただいた会員の皆様には改めて感謝申し上げますが、会の運営には厳しいものが求められていることを改めて感じざるをえない結果でした。

会計的に、何らかの手を打っていかねばなりません。とにかく総会への出席者を増やすことが何よりも求められると思われまます。何卒ご協力をお願いいたします。

東京秋工会を考える



加賀谷 健治 (昭36 電気科卒)

東京秋工会幹事/富士テレコム(株)第三営業統括部部长

■ 近況報告

昭和36年3月電気科を卒業して、同年富士通信機械製造株式会社(現在の富士通)に入社しました。ラジオの組立て・アマチュア無線などが趣味で、放送部先輩の佐藤隆さん(97年6月逝去)が前年入社しており、心強く思ったのが富士通を選んだ動機です。

当時の富士通は知名度が低く、運送会社に入ったのかと間違われるような会社でした。将来、情報通信分野で日本を代表する大企業に発展するとは夢にも思わず、自分の趣味をしながら給料をもらえる良い会社と軽い考えでした。

しかし、会社に入って与えられた通信機器の設計は分業化が進み、大半が単純作業で退屈に思ったものです。

入社後、近くの神奈川大学夜間部に通学し、昭和41年卒業と同時に独立すべく辞表を出しましたが、新製品開発に従事することを条件に慰留され、富士通に残ってしまいました。

翌日から、テレビ電話の開発部門に移され、連日連夜試作に明け暮れ、展示会出展などの宣伝活動を行いました。需要が無く2~3年で開発中止となりました。

次に担当したのが双方向CATVの開発です。各家庭に引かれた同軸ケーブルで防災・防犯、遠隔診療、遠隔教育などを実現しようとするものですが、これも機が熟さず数年で開発中止となりました。その後25年経って、最近やっとIT革命などとマルチメディア・ネットワークとサービスが注目され始めました。

次に、ビル管理システムの開発を担当しました。ビル管理システムはビル内の電力・空調・防災などの設備を、センターで一括集中監視制御する装置で、CRTグラフィック表示装置と日本語使用で他社と差別化し、超高層ビル建設の時流に乗りやっとなし、100メートルを超える超高層ビルでは約3割の国内シェアを占める実績を残しました。

名前がインテリジェントビル・システムと変わりましたが、その後継続して約25年間ビル内情報通信ビジネスに従事しています。

昨年平成11年7月富士通パートナーの富士テレコム株式会社に出向し、今年平成12年6月、39年間勤めた富士通を役職離任で退職しましたが、その後も継続して富士テレコム株式会社で、25年前の夢を実現すべくITビジネスの開拓に努力しております。

今後とも宜しくお願い致します。

■ 同窓会活動について

さて話は変わり、秋田工業高校同窓会の件について述べさせていただきます。

私は平成6年、50歳を機に今後の人生の幾ばくかを、お世話になった郷土や母校のため微力を捧げようと思い立ち、秋田の活性化や東京秋工会の活動に参加しております。

このうち、東京秋工会ではこの数年総会への参加者が低迷しており、澤木会長をはじめ幹事全員の悩みとなっております。同窓会誌に投稿する機会に、同窓会活性化の提言をしたいと思っております。

最近同窓会活動に参加されていない方々におかれましては、ぜひお読みいただき、次の総会に参加して頂けることを期待致します。

■ 同窓会の役割

同窓会には、母校と郷土に対し、感謝とお返しの意味で次の役割があると思います。

1. 母校の発展・興隆のための教育・スポーツ・文化などの支援活動。
2. 郷土秋田県・秋田市振興のための支援活動。
3. 秋田県・秋田市関係者との交流

■ 同窓会活動について

同窓会に参加すると、次のようなメリットがあります。

1. 同窓生・秋田県・秋田市関係者及び他校同窓会との交流。(秋田弁での会合、宴会・ゴルフ会などの親睦会)
2. ビジネスの人脈形成・情報交換・協力関係形成。

■ 最近卒業した若い方達へ

東京秋工会では、若い同窓生の参加が少ないため高齢化が進み、問題となっております。

若者の意見・提案を汲み入れ、魅力ある同窓会にするためにも積極的な参加を期待します。

日本では終身雇用・年功序列体系が崩壊し、会社は一生頼れる場所ではなくなりました。これからは一つの会社に閉じこもらずに、分野の異なった多数の人々と幅広い交流を深め、自らの進路を切り開いて行く必要があります。

そのための場として、東京秋工会を活用していただきたいものです。

■ 社会の中堅で活躍の方達へ

子息の育児が終わり、経済的・時間的余裕ができた同窓生の皆様、今後の人生の幾ばくかを母校のため、郷土のため力を貸して下さい。

多種多様な職業の人との交流で人の輪が大きくな

り、さらに定年後の人生設計のための良きお手本がたくさんおり、大変ためになります。

東京秋工会では、幹事不在の年次・年代が沢山あります。理想的には、卒業年次・年代毎に最低一人の幹事がいて、その年次及び年代のまとめを担当していただきたいものです。

■ 退職し第二の人生を過ごされている方達へ

高度成長時代、企業戦士として家庭も顧みず活躍した人が、定年とともに住民のコミュニティーにも参加できず孤立し、生き甲斐もなく濡れ落ち葉となり恍惚の人となった話はよく聞くところです。

東京秋工会の各種行事に参加し、幹事を引き受けて頂くと、人生の生き甲斐となり、新しい人生が開けることとなります。

■ 最後に

同窓会に参加したいけれど、見しらぬ人の中に入れていくことを躊躇している皆様、おそれることはありません。初参加と言って頂ければ、幹事始め常連の方々が丁寧に應對し、同じ秋工出身の仲間として歓迎してくれることを保証します。

次の総会では初参加の方が増えることを、心より期待しております。



老人の陸上競技10年

小野寺 繁郎 (昭17 電気科卒)
埼玉県岩槻市在住

大正14年(西暦1925年)生まれ75歳、現在某電気技術コンサルティング会社に勤務、趣味は色々やるが、50年目にして再開した陸上競技について書くことにする。

秋工入学は昭和15年4月、卒業は繰り上げの昭和17年12月。

出身は太平山の裏側の岩見三内(現在の河辺町)、小学校は陸上競技の盛んな学校で、全県大会を目標に小学4年から高等科2年まで、5年間練習に明け暮れ、夏休みの10日間の合宿練習は苛酷そのもの、よく耐えられたと思う。

こんなに打ち込んだ陸上も、秋工入学を機に足を洗うこととなる。

当時秋工と秋田師範学校は小学校高等科2年からの入学で、既に師範学校の合格通知証を受け取りながら、親戚などの意見もあり、曖昧な気持ちでの秋工の受験となった。

口頭試問で「師範を合格しているようだが、工業に入るのか」という明石先生の質問は、運命を決めた一言となった。

親や先生に逆らうことに馴れていない、少年の自主性の無い従順な気持ちは、反射的に「ハイ」と答えてしまった。

夜も眠れない程に悩みながらも、結局は秋工に入る事となった。

さらに決定的な事は、ラグビーをやるなら学校に

やらない(行かせない)、ついでに走る方も駄目という父親の厳しい後託宣である。

後で知ったことだが、父は若い頃、保戸野小学校付近に住んだことがあり、ラグビー部の激しい練習風景を見聞きしていたようである。

また何も陸上競技までと思いながらも、陸上を続けさせても、胃腸も弱く上背も伸びそうもない俸の素質を洞察した親の判断は、案外正しかったのかもしれないと思うことがある。

そんな事で陸上競技から遠去かって50年目に、マスターズ陸上競技連合に加入する。

連合は生涯スポーツの推進を目指して組織された陸上競技団体の総称で、中高年を対象に5歳刻みにクラス分けがされ、県内、全国大会のほかに、アジア大会、世界大会などの国際試合も開かれ、12年前に秋田で全国大会が開催されたこともある。

平成2年11月、国立競技場で開かれた、第8回東京マスターズ選手権大会に参加、M65(65~69歳)のクラスで、

100m(5位) 400m(2位)

に入賞。陸上競技のメッカ国立競技場での公認競技出場感激と、全天候舗装陸上競技場のタータン・トラックの感触にしみれながら、同年輩の人達でも早い人がおることに驚いた。しかし、目標が出来たことは幸いであった。

この東京大会が病みつきとなり、今日まで10年

走り続け、ランクも3巡目となる。

M65(65~69歳)

M70(70~74歳)

M75(75~79歳)

この間獲得したメダルの数も、70近くとなった。

参考までに記録をまとめると、表の通り。

種目 (m)	自己記録		日本記録
	70~74	75	75
100	14秒43	15秒76	14秒52
200	30秒07	32秒42	30秒81
400	72秒00	78秒00	71秒99



日本記録はマスターズ創立20年来の記録であり、時として現われる怪物のような選手の記録である。

私の現在の記録では、各県の記録と比較して差が無い。75歳となると記録が無い県が多く、秋田県も無いようである。

加齢と共に、記録が低下するのは当然である。同一クラスでも、年齢が上がると順位が悪くなる。今年75歳、最も有利な年である。

75歳になると走る人が少なくなり、一人で走ればいつでも金メダル、と思う不謹慎な気持ちはなくはないが、やはり競争相手が無いのは寂しいものである。

これからは記録を抜きに、健康であることを素直に喜び、80歳まで走り続けたいと、日夜鍛練に励んでいる。

ある一定の年齢を過ぎてから、何かにトライするという事は、なかなかできないこと……。小野寺先輩のような方の存在は、これから定年を迎える方達にはもちろん、若い方達にとっても、何らかの参考になるのではと思います。

我々は、こうした生き方をされている先輩が、同窓として身近にいらっしゃることをこれからも皆さんにご紹介できればと思っています。

小野寺先輩にはぜひこれからも、可能性にチャレンジして頂きたく思います。

そして我々後輩も何かを自分の中に見い出せればと思っています。



回文といろは歌

笹淵 茂 (昭21 治金科卒)
東京秋工会副会長／首都圏男鹿の会会長



表題にある「回文(かいぶん)」ということばを聞いたこと、あるいは見たことのある方は、案外少ないのではないかと。

いろいろなことばや歌を、制限された約束のもとで作ることは、昔からよくおこなわれていた。「いろは」にしてもそうだし、「回文」またしかり。

回文は、初めから読んで、逆に、終わりから読んでも同じ読み方で、同じ意味になるような作り方をする一種の遊び。

「山本山」は、漢字上ではこれでいいのだが、かな読みだと「やまもとやま」となり、これではダメ。回文には、かなで表わしたとき逆読みしても、同じ意味にならなければならないという約束がある。

竹やぶ焼けた(たけやぶやけた)がその好例。

一方「いろは歌」は皆さんよくご存知のもの。といっても、これも昔から、いろいろな人によって作られてきたという背景がある。じつは、現今に至っても、それが継続しているのだ。この意外性も含め、それらを紹介したい。

ここでは「回文といろは歌」について、時代を追ってまとめてみたものである。

読者の中で、この内容に興味を持たれ、それらをより深く調べてみたい、と感じとられた方がいらっしやるとすれば、まことに幸いである。

この文をしたためるにあたり、そうした願いも込めながら記述したことを付け加えておく。

回文(廻文)

初めから読んでも、終わりから逆に読んでも同文同意になる文。

回文の約束ごととして濁点、半濁点は無視する。

なかぬきのかなはそこが読み返し部分であることを示す。

○長き夜の遠の眠りの皆目ざめ

波乗り船の音のよきかな

(なかきよのおのねふりのみなめさめなみのり
ふねのおとのよきかな)

夜中に悪い夢を見たとき、秋田県仙北地方などでは、この歌をを三回唱えれば凶事が起こらないとされていたようである。

○むら草に草の名はもしそなはらば

なぞしも花の咲くに咲くらむ

(むらくさにくさのなほもしそなはらはなぞしも

はなのさくにさくらむ)

○また飛びぬ女(め)と男(を)とあはれししらじ
死ぬれば跡をとめぬ人魂(ひとだま)
(またとひぬめとをとあはれししらしぬればあ
とをとめぬひとたま)

○北を締め冬の夜の夕飯を焚き
(きたをしめふゆのよのゆふめしをたき)

○着つも着つ寒さも寒さ月も月
(きつもきつさむさもさむさつきもつき)

○力士手で塩なめなおし出て仕切り
(りきしててしおなめなおしててしきり)

○でかいお尻が好きと帯を解きすがりしをいかで
(てかいおしりかすきとおひをときすかりしをい
かて)

手習い詞(ことば)

手習い(=習字)の初歩の者に用いられる手本のことば。『古今集』の序に「難波津の歌(難波津に咲くや木の花冬ごもり今を春べと咲くや木の花)」と「浅香山の歌(浅香山影さへ見ゆる山の井の浅き心をわが思はくに)」を、手習う人の初めにした事情が述べられている。

これらの歌には、同じ文字がある反面、一回も習わない文字もある。

平安時代初期には、すべての仮名(かな)を漏らさず習うために作られた「あめつちの詞」が現れ、次いで「たるに」の歌が作られた。平安中期以後には「いろは歌」が作られ、以後これが長く仮名の手本として用いられるようになった。

— 天地(あめつち)の詞(ことば) —

(山)、かは(川)、みね(峰)、たに(谷)、くも(雲)、
きり(霧)、むろ(室)、こけ(苔)、ひと(人)、いぬ
(犬)、うへ(上)、すゑ(末)、ゆわ(硫黄)、さる(猿)、
お(生)ふせよ、え(榎)のえ(枝)を、な(馴)れぬ
(居)て」

以上四十八字からなる。作者不明。当時、ア行音のエ[e]とヤ行音のエ[y e]の区別があったことを示している。

次に挙げる「たるに」の歌や「いろは歌」より古い。

－ 太為爾(たみに)＝「田為仁歌」「田居にの歌」とも －

仮名四十七文字を全部使って歌に作った平安中ごろのもの。

「いろは歌」ができる前「あめつちの歌」について用いられた。

元禄元年(九七〇年)、源為憲(みなもとのためのり)の著した「口遊(くちずさみ)」に出ている。このころ作られたものらしい。作者不明。「口遊」には、すべて漢字で表されているが、〈 〉カッコ内は、大矢透氏が次のように現代ふうの漢字を当てたもの。(音図及手習詞歌考)

○「大為爾伊天(田居に出(い)で)奈徒武和礼遠曾(奈摘むわれをぞ) 支美女須土(君召すと)安佐利於比由久(求食(あさり)追ひ行(ゆ)く) 世末之呂乃(山城の)宇知恵倍留古良(打ち酔(ゑ)へる児ら) 毛波保世与(藻は乾(ほ)せよ)衣不禰加計奴(得船(えふね)繫(か)けぬ)」

－ 伊呂波歌(いろはうた) －

手習い詞歌のうちの代表的なもの。同じ仮名を二度使うことなく、七五調で今様歌ふうにした四十七字の歌詞。初め、手習いに用いられたが、のち、音節表に用いられ、また、物の順序を表すために使用された。仏教思想を盛った歌で、漢字をあて、濁点をつけると次のようになる。

○「色は匂(にほ)へど散りぬるを我が世誰(たれ)ぞ常ならむ、有為(うる)の奥山今日(けふ)越えて浅き夢見じ酔(ゑ)ひもせず」

涅槃経(ねはんぎょう)の偈(げ＝仏の功德をほめたたえる詩)。

「諸行無常、是生(ぜしょう)滅法、生滅滅己(めつ)い、寂滅為樂」の意を和訳したものと伝えられているが疑わしい。俗説に弘法大師の作というが、平安中期のものらしい。

(注) 今様歌(いまよううた)＝平安時代中期に新しく起こった歌謡の名。和讃(わさん)から出、のちに七五調四句形式のものが標準となった。最初は、女*傀儡(くぐつ)師や白拍子が歌っていたが、漸次貴族階級にもてはやされるに至り、宮中の遊びに用いられた。(*傀儡とは、あやつり人形を歌に合わせて舞させた芸人)

－ 忍者の「いろは」 －

昔の忍者は、「忍びいろは」で仲間と連絡を取ったという。

字の形は、ヘンに木、火、土、金、サンズイ(シ)人、身と自然体を使い、ツクリに色、青、黄、赤、白、黒、紫と色を使っているのが特徴。

槍(い) 炮(ろ) 地(は) 鉦(に) 池(ほ) 俺(へ) 鮫(と)

梢(ち)	(り)	(ぬ)	(る)	(を)	(わ)	(か)
横(よ)	(た)	(れ)	(そ)	(つ)	(ね)	(な)
柿(ら)	(む)	(う)	(ゐ)	(の)	(お)	(く)
柏(や)	(ま)	(け)	(ふ)	(こ)	(え)	(て)
樵(あ)	(さ)	(き)	(ゆ)	(め)	(み)	(し)
標(ゑ)	(ひ)	(も)	(せ)	(す)	(ん)	(。)

たとえば、「柏柏燐燐漆錆驛。」は“やまだみのる”と読む。

－ 江戸時代以降の「いろは」 －

江戸時代や明治にはいって新しい「いろは」が試みられたものもある。いろはは四十八字から出来ていて濁音、半濁音のあるなしは無視するが、余計な文字を加えたり、使わない文字があってはならない。

○鳥啼(な)く声す夢さませ 見よあけわたる東(ひんがし)を 空色映(は)えて沖つへに 帆船(ほふね)群(む)れるぬもやのうち

(これは、「万朝報」で募集したときの一等に入選した作品。作者は確か、学校の校長だったか。明治の作)

古今にわたって、これほどの傑作にはお目にかかっていない。朝早い自然の情景が、まことに巧みに歌い込まれている、内容の整った歌だと思う。

すべて異字で作らなければならないという制限下での見事な作品、といわざるをえない。

再度これをひらがなで表現してみる。

「とりなくこゑすゆめさませ みよあけわたるひんかしを そらいろはえておきつへに ほふねむれるぬもやのうち」

○夢も笑(ゑ)ましき曙に 波越え来るや宝船 通(とお)す節理へ幸(さち)よぼむ 運を拾いて我(われ)ぞ居(ゐ)ぬ

(笑学強加書・現代の作品)

○夢に津和野を思ほえぼ 見よ城跡へ煙る山 うさぎ、ふな、鯉(こい)、稲、すぐり、遠雷(ゑんらい) それて風立ちぬ

(安野光雄・画家・現代の作品)



出発点

佐々木 進 (昭40 採鉱科卒)
東京秋工会幹事 / (株)ジオ 代表取締役

1999年8月14日(土)の昼少し前に、猛暑の中秋田駅前にあるメトロポリタン秋田ホテルに着いた。

今日は午後から母校の記念式典に出席する。ホテルで少し休息をとり、背広を着替えてタクシーに乗り、懐かしい校門の前で降りた。20年ぶりの我が母校の立派な校舎が目飛び込んできた。

記念式典では、諸先輩の素晴らしい講演を伺った後に構内を見学することになり、なぜかふっと高校生の自分が浮かんできた。

1965年3月卒の私達の仲間は、ラグビーチームはもちろんのこと、公式野球部他幾つかの体育部が華やかな成績を残した年であった。

私もボクシング部に在籍しており、キャプテンはやはりインター杯に出場した。総部員数もかつてない程大勢を抱え、部室兼練習場には新人部員が入り切れず、活々として屋外での練習をしていた事を覚えている。

現在の校舎は鉄筋コンクリート造りになっているが、私達の頃はまだ木造で廊下は狭く、教室の床には節々が浮き出ており、壁には無数の穴が見られた校舎であったが、それはかえって新入生の頃は、歴史と伝統を感じさせられたものである。

私の専攻は採鉱であり、当時鉱業は社会的には景気が下降しており、幾つかの鉱山が閉鎖となったり、企業同士の合併が行われている時であったが、地質学の分野では将来性があるように思われた。

今でも高校時代のただ一冊の教科書が、私の本棚の端に並べられている。

株式会社東京教学社発行の「一般課程地学 [II] - 地質・鉱物 I」という本で、昭和37年1月10日5版発行、定価220円となっている。

後の空スペースにはまったくへたくソな字で自分

の住所・氏名・生年月日・高校でのクラス名が鉛筆で記されている。

文中の各セクションのところには、やたら赤鉛筆でアンダーラインが引かれてあり、目を通し進むと、男鹿半島の成立過程が海洋の作用によるものであることが説明されているところで止まった。

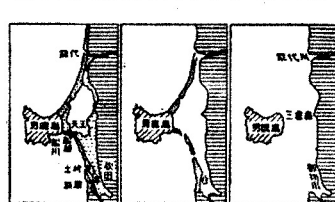


図 141. 男鹿半島は男鹿島が砂州によって結ばれた陸続きである。

男鹿半島へは、クラス全員で地学の野外講習にいったことを覚えている。

バスを降り海岸へ出ると、岩盤がむき出し

で満潮時には波に洗われるところである。

クリノメーターという器具を使用して、その走向や傾斜を何点も測定し、先生に岩名や成分の説明を聞いて、地学のおもしろさに触れることが出来た一日であった。

校内の工場で行われる実習も私は好きだった。特に選鉱においては、岩塊を徐々に数mm単位の大さきにしてゆく為のクラッシュ・ボールミル等の機械が目につき、粉碎された岩石鉱物を選鉱する方法の一つとして浮遊選鉱があるが、薬品を用いて特定の鉱物とその気泡に付着させ、岩と区分するのである。この事に私はなぜか神秘的な感動を覚えた。

高校に入学した時は、「採鉱」というと漠然としたものしかなかったが、専門科目むを教えられてゆくうちに、徐々に興味を持ち始めた。

しかしそのことが職業として現在30数年を経ることを、まだその時は夢にも考えていなかった。

私は今地質調査の仕事に就いて、今日も現場でボーリングマシンの心良い音を聞きながら、そのそばに立っている。

近況

これから……

高田 司 (昭44 機械科卒)

前NECラグビー部監督 / (株)世紀 代表取締役

お陰様で、私が創部以来監督を務めて参りましたNECラグビー部は、15年目にして初の全国社会人選主権ベスト4入りを果たすことができました。

15年間、ご指導・激励を頂いた皆様のご厚情によりやく報いることができ、ホッとしております。

同時に後継者を育てる必要性を痛感し、今年度より私は監督実務を離れ、顧問としてNECラグビー部を見つめていくこととなりました。

近年、激しい接触を伴うラグビーは青少年に敬遠され、人気も今一歩の感があります。

肉体と精神を鍛えあげてくれるラグビーが、日本においてポピュラースポーツとなるよう、微力ながらお手伝いしていきたい、それが私に残された仕事と思っております。



さて、先日秋田市内に住む親戚が亡くなりまして、久し振りに懐かしい秋田の街並みを見て参りました。

私事で恐縮ですが、私は中古パソコンリサイクルのビジネスに取り組んでおります。

使い古されたとはいえ、機能的に十分なパソコンにもう一度命を与え、活躍してもらおう……。環境を考えると、それが最も大切なことと思います。

そんな私の目からしますと、秋田の街に並ぶ中古パソコンはあまりにも貧しく、高価格でありました。

本来IT革命とは、都市と地方などの情報格差を無くすことに意義があったはずですが、このままでは新たな意識格差を生んでしまうように思われました。

秋田は私のように長く離れて暮らしていた者にも、相変わらず暖かい街でした。でも、時代に対応した情報化を推進することが、愛する秋田発展に是非とも必要と感じました。

第17回ゴルフ会コンペの報告

三平 俊悦 (昭39 建築科卒)

東京秋工会幹事長 / (株)大地住販 常務取締役



第17回東京秋工ゴルフ会のコンペを、平成12年5月28日(日)、当会の鎌田満雄氏(27C)にご協力いただき、鎌田氏がメンバーである名門レイクウッドゴルフクラブに於いて、16名のご参加をいただいで開催いたしました。当日は夜半まで激しい雨が降ったこともあり心配いたしました。皆さんの普段の心掛けが良いせい(?)か、真夏日を思わせる好天に恵まれ、コースコンディションとしては最高の状態で、言い訳が一切できないといった好条件の中でプレーすることができました。

スタート前には、当ゴルフ会に多大なご尽力をいただいた、故川端邦夫氏(31M/第1回優勝者)のご冥福を祈って1分間の黙祷を行いました。

今コンペの成績は以下の通りです。

- 優勝……斎藤忠四郎(32M)
グロス92.ハンディキャップ22.ネット70
- 準優勝…染谷厚子(47K)
グロス109.ハンディキャップ36.ネット73
- 第3位…加藤義雄(31M)
グロス101.ハンディキャップ22.ネット79
- BB……太田 晋(31M)
グロス107.ハンディキャップ14.ネット93
- ベストグロス…三平俊悦(39A) グロス83
紅一点の染谷さんが準優勝と、頑張られました。

パーティーは、皆様方の近況報告と情報交換、そして思い出話などで、酒が入る毎に盛り上がり、楽しい19番ホールとなりました。

今後もこうした同窓会員の親睦を通して、母校の発展と、東京秋工会の活性化に少しでも寄与できればと考えております。

次回(第18回)ゴルフ会は本年11月中旬に茨城カントリークラブで開催する予定としております。

参加をご希望の方は、下記へご連絡ください。

- 担当幹事 三平俊悦(39A/東京秋工会幹事長)
- 連絡先 (会) TEL.03-3345-8555
FAX.03-3345-9500
(白) TEL.044-852-0891

東京秋工ゴルフ会コンペ歴代優勝者

- 第1回 川端 邦夫 31M
ウイルソンロイヤルゴルフクラブ(やさとコース)
- 第2回 志賀 英一 31K
鶴舞カントリークラブ
- 第3回 下総 勉 47A
龍ヶ崎カントリークラブ
- 第4回 藤田 昌博 39A
宍戸国際カントリークラブ(宍戸コース)
- 第5回 富樫 順吉 31M
金乃台カントリークラブ
- 第6回 田畑 敏夫 45E
秋田椿台カントリークラブ(秋田との合同開催)
- 第7回 高橋 正司 31M
茨城カントリークラブ(東コース)
- 第8回 志賀 英一 31K
龍ヶ崎カントリークラブ
- 第9回 横田 忠 32M
裾野カントリークラブ
- 第10回 太田 晋 31M
ザ・オーシャンカントリークラブ
- 第11回 山本 修一 40A
鶴舞カントリークラブ(西コース)
- 第12回 三平 俊悦 39A
プレジデントカントリークラブ
- 第13回 宇佐美莊三 39A
イトーピア栃木ゴルフ倶楽部
- 第14回 鎌田 満雄 27C
風月カントリークラブ
- 第15回 該当者なし
秋田椿台カントリークラブ(秋田との合同開催)
- 第16回 小野寺繁郎 17E
イトーピア栃木ゴルフ倶楽部
- 第17回 斎藤忠四郎 32M
レイクウッドゴルフクラブ

川端邦夫君を偲ぶ

太田 晋 (昭31 機械科卒)

東京秋工会幹事／太平産業(株) 東京営業所部長



平成12年3月20日、川端邦夫君は突然の死を賜わり、黄泉の国へと旅立った。

享年62歳。まだまだこれからという時の旅立ちに、我々周囲の者また学友達は、只唾然として見送るばかりだった。

2ヵ月程前から体調を崩し、本人も不調を我々に訴えていたが、よもやこのような事になるとは思いもよらなかった。

3月24日にお通夜が行われ、翌25日に告別式。東京秋工会からは澤木会長他主だった幹事と生前交流のあった同窓の方達が出席。また秋田から同級生達も出席。さらには彼と交流の深い業界関連の人々などが出席し、川端君の霊を御送りした。

今、君に対して何を語れば良いのか。

君の偉大さは、口に表すことが難しい……。それほど君の生前の功績が素晴らしいものであったことは、衆目が一致する事と思う。

今、君のことをことを語ろうとすれば何だろうと。いっぱいありすぎて何からと……。人一倍、愛を大事にした人だった。家族愛、友情、兄弟愛、大げさな表現を許してもらえたら人間愛。その感情が

ひしひしと我々の心を打ち、仕事や諸活動における情熱と共に、大きな何かを与えてた。

東京秋工会では、率先してゴルフ同好会の世話役を買って、東京秋工会の重要なイベントとして発展させるために尽力してくれた。

仕事の面でも、大きく変革している建設業界に立ち向かい、難問題解決に努力し、これからという時の君の死は、大きな損失となったのではと思う。

お通夜の日我々級友(中澤、高橋、加藤、尾山、小松、越後谷、小生)は、朝まで君と語り合った。

早すぎる死を疎い、ゴルフの話や様々な思い出話……。一睡もしないで語った。君との思い出話は本当に尽きない。

君の御子息達は立派に成長し、社会人として活躍しているけれど、我々は影となり日向となり出来るだけ力を貸すつもりでいる。だから安心して奥さんのところへ行き給え。

告別式の時、弔辞を送ったが、こんなに早く君の弔辞を読むとは思わなかった。人の死は悲しいものだが、今までに君の死ほど残念に思ったことはない。心から冥福を祈る。

お知らせ

平成11年度総会案内の返信ハガキ及びその他により、次の方のご逝去の連絡がございましたので、ご報告いたします。

- | | |
|--------------|-------------|
| 藤崎 正二 (昭13M) | 平成 6年 8月ご逝去 |
| 宮本賢治郎 (昭17S) | 平成10年 4月ご逝去 |
| 成田 廣 (昭 4E) | 平成11年 2月ご逝去 |
| 梅田 達郎 (昭14M) | 平成11年 5月ご逝去 |
| 神谷堅太郎 (昭29M) | 平成11年10月ご逝去 |
| 浅井 駒蔵 (昭21A) | 平成11年10月ご逝去 |
| 加賀谷銀治 (昭 2M) | 平成11年11月ご逝去 |
| 加藤 慶吉 (昭15M) | 平成12年 2月ご逝去 |
| 川端 邦夫 (昭31M) | 平成12年 3月ご逝去 |

以上9名の方のご逝去のお知らせがありました。ご冥福を心よりお祈りいたします。

編集後記

東京秋工会の象徴のような存在であった加賀谷銀治先輩。あのお元気な姿をもう拝見できないと思うと寂しい気がします。何かとお世話になったことがあるというお話しを会員の方からよく聞かされることの多かった加藤慶吉先輩。そして現役幹事として、つい去年まで様々な会やゴルフ会などで一緒に活動していた川端邦夫先輩。以上の方達を含め、今年度は9名の方がご逝去されたとの連絡を受けました。これも運命とはいふものの、これまで会を継続してきた上で貢献いただいた先輩や、個人的にもよく声をかけていただいた先輩達の悲報を聞き、悲しい思いや寂しさはどうしようもありません。皆様のご冥福を心よりお祈りいたしますと同時に、残った我々の力で東京秋工会をより躍進させていかなければと思います。

尚、ページ構成の都合で、今号にはその他の情報等を掲載できませんでした。ご容赦ください。また、今号にご寄稿並びに賛助広告をいただいた皆様には、心より御礼申し上げます。今後とも協力くださいますよう、宜しくお祈り申し上げます。

1999.9.18／制作担当 船木一美(48M)

A-1

秋田への就職応援します

Aターンプラザ秋田

フリーダイヤル／0120-122-255
 東京交通会館2階(JR有楽町駅・京橋口)
 東京都千代田区有楽町2-10-1
 業務時間 月～金曜…9:00～19:00
 土曜……………9:00～17:00



「Aターンプラザ秋田」では、秋田県内の求人・住宅・教育など各種情報の提供や、Aターン就職に関する相談を行っております。どうぞご利用下さい。

B-1

技術士・経営士 (コンサルタント)

浦井 技術士 経営士 事務所
(経営工学士) (生産)
 (U. E. M.) ←(略称)←

“気軽にご相談下さい”

所長 浦井 宗治

連絡先

〒207-0005 東京都東大和市高木3-419-3
 TEL : 0425 - 61 - 0740
 FAX : 0425 - 62 - 4557

(社)日本技術士会登録専門事項

生産性向上、生産管理、QC、レイアウト
 仕掛及び在庫削減、新製品新加工法体系
 標準化統合化、IE、VE、TPM
 付加価値経営計画、コストダウン

昭和12(1937)年 秋田工業高校機械科卒

B-2

省エネルギータイプ
 道路・地下道・歩道橋の融雪と凍結防止に
 “ロードヒーティングシステム”を

橋 梁・車道に…面状発熱体方式
 玄関前・歩道に…融雪ブロック
 車 道・歩道に…ケーブルシステム方式
 消火栓用に…融雪ブロック

東北総代理店
 **千代田電気工業** 株式会社

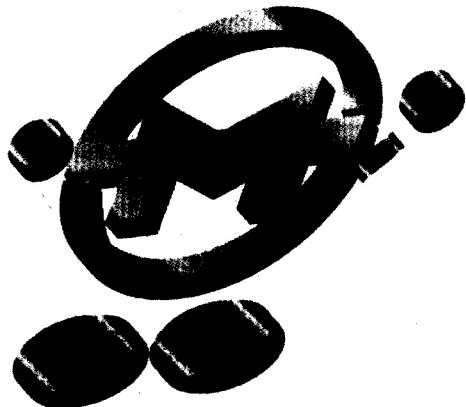
代表取締役社長 小野地 謙治
(昭18電気科卒)

代表取締役専務 小野地 慎一

〒010-0003 秋田市東通六丁目4番5号
 TEL:018-833-5451(代)・FAX:018-834-5539

B-3

“ワンソース マルチユース”をめざして



一般印刷・企画デザイン・カラー印刷・ホームページ制作
文字が伝えるあたたかい情報

社団法人日本グラフィックサービス工業会会員



株式会社 東海林印刷

代表取締役会長 東海林 正隆

〒010-0021 秋田市横山登町7-51

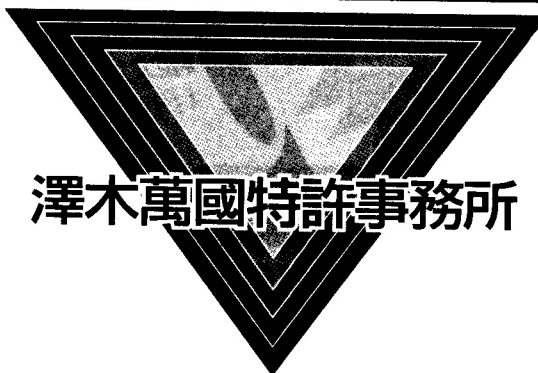
TEL 018-835-2959(代) FAX 018-835-0722

e-mail info@shouji-p.co.jp

URL http://www.shouji-p.co.jp



B-4



澤木萬國特許事務所

内外国への特許、実用新案、意匠、商標出願
侵害事件についての相談・鑑定・調査

所長弁理士 澤木 誠一
(昭26 電気科卒/東京秋工学会会長)
弁理士 澤木 紀一

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-18-1 第10森ビル8F

TEL : 03 - 3501 - 0937 (代)

FAX : 03 - 3595 - 0059

B-5

TOKICO

快適な技術には、
未来を夢見る力がある。

創立以来、トキコはつねに今日の結果に妥協することのない「チャレンジスピリット」を心掛け、技術開発に取り組んでいます。出会うたびに新しいフレッシュ・テクノロジーで産業界の発展に貢献しているトキコです。

- ショックアブソーバ・ブレーキ装置
- 流量計及びシステム機器
- 免震・制振システム ●小型空気圧縮機

多賀谷 励治
(昭29 電気科卒)



トキコ株式会社

〒210-0005 川崎市川崎区東田町8 バレール三井ビル
TEL044(244)3126

B-6

豊富な総合技術で
明日をめざす



株式会社 東北機械製作所

取締役社長 楠見 清
専務取締役 菅 章 (昭34 機械科卒)

本社 / 秋田市茨島1-2-3 〒010-0065 TEL : 018-862-5541 (代)

茨島工場 / 秋田市茨島1-2-3 〒010-0065 TEL : 018-862-5541 (代)
FAX : 018-862-5626

向浜工場 / 秋田市向浜1-3-1
(大型物組立)

東京支社 / 東京都港区浜松町1-12-6 第一浜松町ビル3F 〒105-0013
TEL : 03-3435-1701 (代)
FAX : 03-3435-1715

仙台営業所 / 仙台市青葉区木町通1-1-3 野澤醸造ビル1F 〒980-0801
TEL : 022-713-0588
FAX : 022-713-0588

東北マテックス株式会社

取締役社長 楠見 清
(秋工幹事長) 根布谷 昇 (昭36 機械科卒)

秋田市川尻若葉町6-1 〒010-0944 TEL : 018-862-5271 (代)
FAX : 018-862-5295

B-7



株式会社 五十鈴製作所

代表取締役会長 富松 宗富
(昭17 電気科卒)

本社営業所 〒457-0058 名古屋市南区前浜通り3-21五十鈴ビル
TEL (052) 823-2181(代) FAX (052) 823-2186
秋田工場 〒010-1415 秋田市御所野湯本4-1-4
TEL (0188) 26-1181 FAX (0188) 26-1182

B-8

□店舗内装・改装工事 □ビル内装工事
□マンション・住宅内装改装工事



株式会社 第一機電

建設業 東京都知事許可(般-9)第108528号

代表取締役 戸祭 金一
(昭26 機械科卒)

〒170-0013
東京都豊島区東池袋2-56-7第一福田ビル2F
電話 代表 3971-4004 · FAX 3971-7749
E-mail : koujibu@d-kiden.co.jp
U R L : http://www.d-kiden.co.jp

B-9

宝石・貴金属 専門店

伊藤貴金属 大町本店

秋田市大町1-2-47
TEL 018-836-2761

秋田駅前店
ファッションビルイトキン
5F

秋田市中通2-4-15 朝日生命ビル1F
TEL 018-836-5533


秋田サティーフ店
イトキン
5F

秋田市橋山川回境5-11 秋田サティーフ1F
TEL 018-836-1366

代表取締役 赤塚 京二
(昭40 土木科卒)

B-10

**建築・土木設計施工
一級建築士事務所**



鎌田工業株式会社

代表取締役社長
鎌田 満雄
(昭27 土木科卒)

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町41番8号
TEL 03-3667-6696(代) FAX 03-3667-8956

営業所 秋田・青森・仙台
山形・盛岡・千葉

関連会社 カマタ建設株式会社

A-2

秋田比内地鶏専門店

やきとりから
(300円) きりたんぼ鍋まで
(1800円)

盛況
御礼

比内や

秋田の食文化を東京へ、全国へ発進します。
本場の食材を安心価格で…

学芸大東口店

東急東横線・学芸大駅
東口より徒歩1分
☎03-3760-8804

蒲田西口店

JR京浜東北線・蒲田駅
西口より徒歩3分
☎03-3731-3115
年中無休・お電話2時より

私達のふる里、秋田は比内地鶏を初めとして、いなにわうどん、きりたんぼ鍋、しょつつる鍋、じゅんさい、とんぶり等たくさんの“旨いもの”がある珍しい県ではないでしょうか。
文化のあるところに食文化あり…秋田の高いレベルの食文化を安心価格で、もっともっと全国へ広めたいと思います。

(株)いなにわ
☎018(839)6718

代表取締役 熊井春美(昭43 機械科卒)
いなにわうどん仁井田本店・秋田藩
比内や川反店 他 計9店直営

B-11

ドラゴンマンションの

DANICHI®
株式会社 大地住販

宅地建物取引業免許 建設大臣(3)第3740号
〒229-0031 神奈川県相模原市相模原5-1-1
TEL.0427-53-1155(代) FAX.0427-57-5010

常務取締役

三平俊悦
(昭39 建築科卒)

〒163-0023 東京都新宿区西新宿6-6-2
新宿国際ビルディング5階
TEL.03-6345-8555(代) FAX.03-6345-8013

B-12

地質、土質調査
土木設計・測量



株式会社 ジ オ

Geo Co., Ltd

代表取締役
佐々木 進

(昭40 探鉱科卒)

本社 東京都調布市東つつしヶ丘3-41-31
〒182-0005
TEL 03(3308) 7591
FAX 03(3308) 7597

賛助広告

C-1

オイル工業株式会社グループ
(平成9年9月/一部上場致しました)

大平産業株式会社

営業品目

- オイルスベアリング
- ボール・ローラー・ベアリング
- ニードルベアリング
- ボールネジ
- ピローブロック
- 油圧機器及び装置
- 二酸化モリブデン系潤滑材
- その他工業機器及び用品

オイル工業株式会社 代理店
光洋精工株式会社 代理店
ダイキン工業株式会社 代理店
日本ピローブロック製造株式会社 代理店
住鋤潤滑剤株式会社 代理店

本社 / 〒550-0012 大阪市西区立売堀 1-11-2
TEL: 06-541-0021(代) FAX: 06-531-5293
東京営業所 / 〒108-0023 東京都港区芝浦 2-14-5 ユニベル田町ビル
TEL: 03-5419-4461(代) FAX: 03-5419-4464

常務取締役 宮崎吉彦
営業部長 太田晋 (昭31機械科卒)
東京営業所所長 笹崎秀男

C-2

給排水・衛生・空調設備 設計・施工・保守

HSK 株式会社 北勢工業

質実剛健 二人で咲かず同期桜

社長 太田光重 (昭31機械科卒)
専務 仙北谷孝治 (昭31機械科卒)
常務 太田博之 (昭56工業化学科卒)

秋田市仁井田本町 5-1-62
TEL: 0188 (39) 6516
FAX: 0188 (39) 6513

C-3

この3を育む環境づくりをめざして

不動建設株式会社

部長 小野鉄雄 (昭38土木科卒)
課長 鷲塚勝幸 (昭39土木科卒)

東京本社: 〒110-0016 東京都台東区台東 1-2-1
TEL: 03-3837-6096

C-4

Total Planning Office

有限会社ティーピーオー
〒150-0032 東京都渋谷区鶯谷町 7-7 OHビル301
TEL: 03(5489)5024
FAX: 03(3770)0077

●商品企画・開発
●工業デザイン
●製品設計・試作
●商業空間企画・デザイン
●販促企画・デザイン・制作
●CI企画・デザイン・制作
●地域活性企画・コンサルティング
●その他各種企画・デザイン関連

船木一美
(昭48機械科卒)
プロダクトデザイナー
プランニングディレクター
(有)ティーピーオー代表取締役
日光地区商工会議所エキスパートB 登録講師

東京秋工委会会報

KANASA

金砂

VOL.8

2000年10月1日発行

発行 東京秋工委会本部・事務局
東京都港区虎ノ門 1-18-1 第10森ビル 8F
澤木萬國特許事務所内
電話: 03-3501-0937

発行責任者 澤木 誠一 (東京秋工委会会長/26E)

編集・制作 東京秋工委会会報制作室・第2事務局
東京都渋谷区鶯谷町 7-7 O.Hビル 301
(有)ティーピーオー内
電話: 03-5489-5024

制作管理責任者 三平 俊悦 (東京秋工委会幹事長/39A)

編集・制作担当 船木 一美 (東京秋工委会副幹事長/48M)